

先週、木曜日 3 月 11 日は東日本大震災からちょうど 10 年がたった日でした。6 年生は遠足中でしたが、1 年生から 5 年生までは黙とうの前に教頭先生からお話がありました。新聞であったり、テレビであったり様々なメディアで特集があるので見てくださいということでしたが、見てくれたでしょうか？

地震やその後の津波、避難生活で亡くなったり、行方不明になったりした人は 2 万 2 千人以上だと言われています。先生はちょうど中学校の卒業式の日で、式が終わりトイレできばっている時に地震があり、頭がぐらぐらして体調悪いかなと思ったのをよく覚えています。テレビで家や車が流されていく様子を見て、これが本当に現実なのかと思い、恐ろしくなったのを記憶しています。そして、津波では福島原子力発電所も被害にあいました。放射能が漏れて、ある場所では人が住めなくなりました。東北のことなので、みなさんはピンとこないかもしれませんが、原子力発電所のこと、みなさんにもおおいに関係がある問題です。みなさんが住んでいるこの場所でも福井県の原子力発電所で作られた電気がきています。発電には水を使ったり、火を使ったりいろいろな方法があり、最近では風の力を利用することもできるようになっています。電気を作るにはお金がかか

ります。費用の問題や自然への影響の問題など、いろいろな問題が複雑に絡み合っていて、どの発電で電気を作るかに正解はありません。福島事故の後、原子力発電所をなくすべきだという声もたくさんありましたが、今は少なくなっているように感じます。原子力をこれからも使っていくのか、至少く電気料金が高くなっても、原子力に頼らずに生きていくのかを判断していくのは自分自身です。みんなの数だけ正解があるといえるので、しっかり考えて答えを見つけていってください。ぜひ、みなさんはいろいろなことに疑問を持ち、考える習慣をつけて欲しいと思います。まずスタートに、今日、おうちの人と電気や原子力発電のことについてお話をしてみてくださいね。